

一般質問通告表

平成23年第5回沖縄県議会(定例会)

07月04日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	新里 米吉(社民・護憲)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 基地問題について

- (1) 2005年8月宮城嘉手納町長(当時)は、マスコミインタビューで、嘉手納統合案に「とても受け入れられる状況にない」「普天間は沖縄からの全面撤去、もしくは国外、アメリカが引き取るということが本来あるべき姿・・・」と述べている。知事の感想を伺いたい。
- (2) 県選出衆議院議員の某氏は、選挙中は自論の嘉手納統合案等を「封印」「断念」しながら当選すると自論を主張し、最近では「嘉手納統合案、キャンプ・シュワブ陸上案、国頭村安波案」を唱えている。知事の所見を伺いたい。
- (3) ウィキリークスの米外交公電によると、「彼女(小池百合子氏)は防衛相として環境影響評価が終了した後なら、政府は滑走路を50メートル沖合へ移すことに同意するとの非公式な「約束」を知事に対して与えていた、と認めた」、また、小池氏は「09年までには違う政権ができてから、我々が彼(仲井眞知事)にこれまで何を約束したかは問題にはならない」と返答した」とあるが、知事の所見を伺いたい。
- (4) ウィキリークスの米外交公電によると「鳩山首相、平野官房長官、岡田外相、北澤防衛相、前原氏は2009年12月8日夕に会談し、普天間代替施設で前進を得られなかったのは連立相手の社民党のせいだと一致した」、12月9日前原氏は「もし、現行案以外のあらゆる代替案に米国が賛成しなければ民主党は現行の再編計画を進め、必要ならばゴールデンウィーク後に連立を解消する」と選挙中に約束した「国外、最低でも県外」を実行せず、2009年12月には社民党との連立を解消して現行案強行の姿勢をルース大使に伝えている。このような民主党政権によるアメリカ追隨の現行案強行姿勢について、知事の所見を伺いたい。
- (5) これまで現行案を推進してきた拓殖大学院教授のM氏や外交評論家のO氏は、最近「海兵隊は必ずしも沖縄にいる必要はない。沖縄にいないければ抑止力にならない」という議論は絶対におかしい」「沖縄にいる必要はないが日本のどこかにいなければならない」とインタビューに答えている。知事の感想を伺いたい。
- (6) 防衛省への県質問要旨は、私が県内外で主張し、説明してきた内容と多くの点で一致しており、一定の評価をしたい。今回の質問は知事も了解した内容か伺いたい。
- (7) 去る6月25日「不平等な日米地位協定を許さない抗議集会」が開催された。米軍属が軍法会議にかけられず、第1次裁判権の行使もされない。県民の人権無視が続いている。歴代知事と県議会、県民が長い間、地位協定抜本改定を要求してきたが、前進していない。前進しない理由は那边にあるのか、知事の所見を伺いたい。

2 原発について

- (1) 共同通信の世論調査によると、菅首相が中部電力に浜岡原発の全面停止を要請したことについて、「評価66.2%」「評価していない29.7%」となった。国民世論と浜岡原発停止について知事の所見を伺いたい。
- (2) ドイツが脱原発に政策転換し、イタリアの国民投票では「反原発、約94%」「原発再開、約6%」。ドイツ、イタリア、スイス、オーストラリアが脱原発を明確にし、ヨーロッパで脱原発の動きが高まっている。知事の感想を伺いたい。
- (3) 福島原発について、東京電力と経産省原子力安全・保安院は、当初「想定外の大津波」と説明した。しかし、今日では「地震の揺れによる損傷」があり、大津波は平安時代の貞観地震が指摘され、「想定されていたが無視してきた」ことが明らかになっている。政府と電力会社が「原発の安全」を喧伝してきた「安全神話」は崩壊したと考える。「安全神話」の崩壊について知事の認識を伺いたい。
- (4) 2010年度の環境省調査によると、沖縄は風力発電に関し、北海道、東北地方に次いで高い優位性を保持しているとのことである。沖縄県として風力を初め再生可能な自然工

エネルギーの研究開発に力を入れる考えはないか伺いたい。

- (5) 省エネの努力を重ね、自然エネルギーの開発と普及を進めながら「原発については新設を行わず、運転中の炉については安全対策を徹底し寿命を迎えた炉から順次廃炉にする」との姿勢が求められていると考える。知事の所見を伺いたい。

3 沖縄振興計画について

- (1) 沖縄公庫を存続させる方向で検討に入ったとのことと評価したい。最後の詰めを要望したい。沖縄振興一括交付金については、政府関係者は厳しい姿勢であるが、現状を伺いたい。また、現状をどのように打開する考えか伺いたい。
- (2) 上原副知事は、6月14日の県議会沖縄振興・那覇空港整備促進特別委員会で、「(法律を)つなごうかという話が出てこないとは限らない」と述べ、暫定的に単純延長する可能性もあるとの認識を示したとのことだが、県として暫定延長も考えているのか。また、政府との協議の進捗状況はどうなっているか伺いたい。
- (3) 県振興審議会総合部会で、「計画を県がつくっても、そのすべてを国の法律に依拠するならば、その法律について県と国の綱引きが始まり、従来の繰り返しになる」と委員から指摘されている。既に政府と県の協議で綱引きが始まっていると感じるが、実態はいかがですか。
- (4) 新たな計画の基本的な考え方(案)の9ページには、「海洋島しょ圏である沖縄は、交通に関する不利性を抱えており、交通ネットワークの構築に当たっては、こうした不利性を克服し、東アジアの中心に位置する優位性を生かす諸条件を整備し、ヒト・モノ・情報が円滑に交流し共生する仕組みが必要である」としている。しかし、制度提言では「不利性の克服」について強く大きく述べているが、「優位性を生かす」ことについて非常に弱いと感ずる。県の所見を伺いたい。

一般質問通告表

平成23年第5回沖縄県議会(定例会)

07月04日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	17分	上里 直司(民主党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 新たな制度要望について</p> <p>(1) 税の特例や規制緩和等の要望を「全県特区」としてまとめる必要があるのではないか。</p> <p>(2) 新たな計画実施後にも国と協議を行う場の創設を求めるべきではないか。</p> <p>(3) 新たな法律の名称を県から提起すべきだが、その取り組みについて伺う。</p> <p>2 再生可能エネルギーへの対応について</p> <p>(1) 「スマートエネルギーアイランド基盤構築事業」における実施施策を決定する組織、沖縄環境未来都市協議会(仮称)の設置を急ぐべきであるが、見解を伺う。</p> <p>(2) 宮古島市が先行している再生可能エネルギーへの取り組みを各島々でも実施できないか。また、「美ら島・美しや市町村会」からどのような意見が出ているか。</p> <p>3 企業誘致について</p> <p>(1) 震災後の節電による影響を回避しようと、日本企業の生産及び研究施設を海外に移転させる動きがあるが、これに歯どめをかけ、沖縄への企業誘致を図るべきではないか。</p> <p>(2) 現在の沖縄電力の電力供給体制では、どの程度誘致が可能なのか。</p> <p>4 図書館行政について</p> <p>(1) 図書館人材の採用について</p> <p>ア 現状での有資格者の割合及び正規・非正規の割合について伺う。</p> <p>イ 今回「学校事務」において、司書資格を有する者を若干ながら採用予定としていることは評価したい。今後は「図書館職」として採用試験を実施し、司書を学校、県立図書館等に配置すべきではないか。</p> <p>(2) 「今後の沖縄県の図書館の在り方」への教育長の見解と、沖縄県全体の図書館行政の中での県立図書館が指導的な役割を担う必要について伺う。</p> <p>5 住宅政策について</p> <p>(1) 県内での住宅建設及び改築等の推移及びその経済波及効果について伺う。</p> <p>(2) 沖縄県の耐震化健診と耐震化改築への取り組みがおこなわれている理由について</p> <p>(3) 沖縄型環境配慮住宅の建設推進の取り組みとモデルハウスの建設について</p> <p>(4) 古民家再生事業への取り組みについて</p> <p>ア 今年度の県の取り組みについて</p> <p>イ 古民家再生や沖縄の住宅建設を担う人材育成をすべきではないか。現在の取り組み状況について</p> <p>6 被災地支援について</p> <p>(1) 被災地の子供たちを沖縄で滞在させるプログラムを展開できないか。全県的な受け入れ状況はどうなっているのか。</p> <p>7 海外との交流推進に向けて</p> <p>(1) 中国人観光客のノービザ制度の先行実施後の制度構築の県の考えについて</p> <p>(2) 今後の海外展開に向けて海外事務所の人員と人材育成の検討について</p> <p>(3) 海外の姉妹都市、各国の領事(名誉領事含む)、交流関係の締結国は何カ所あるか。また、仲井真知事就任以来、知事を訪ねた各国要人、大使は何カ国になるのか。</p> <p>(4) 感染症研究施設の設置を積極的に展開すべきであるが、現状はどうか。</p>			

一般質問通告表

平成23年第5回沖縄県議会(定例会)

07月04日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	西銘 純恵(共産党)	知事
質 問 要 旨			
<p>1 福祉・防災の県づくりについて</p> <p>(1) 幼稚園、小・中学校、県立学校の耐震化の現状と早急に耐震化することについて</p> <p>(2) 公立保育園の耐震化の現状と早急に耐震化することについて</p> <p>(3) 民間住宅の耐震診断に補助制度を創設したが、県民への広報や周知の徹底と予算額の拡充及び耐震改修工事や老朽住宅の撤去費用にも補助制度を創設することについて</p> <p>(4) 現行の防災計画で津波被害の想定される低地の学校は何カ所あるか、早急に安全対策をとることについて</p> <p>(5) 地震と津波から障害者と高齢者を守る防災の施策はどうなっているか、対策をとることについて</p> <p>2 県立病院について</p> <p>(1) 夜勤回数が14回もあるなどの看護師の過労は、患者の命にかかわる問題である。看護体制の強化など対策が必要と考えるが、改善策を問う。</p> <p>(2) 作業療法士などの医療技術者は、民間同規模の病院に比べて少ないのが現状である。県民の必要とする医療を行うために、職員を増やすべきではないか。</p> <p>(3) 公立病院の民営化や統廃合が進められた結果、東日本大震災の被災地では、必要な医療が受けられず大きな問題となっている。県民が、どんなときにも安心して必要な医療が受けられるように、県立病院の存続と拡充が必要ではないか。</p> <p>3 高齢者福祉について</p> <p>(1) 老人福祉法は、市町村が窓口となって、65歳以上の低所得者の養護老人ホームへの措置入所を定めている。高齢者の生活困窮が拡大していて措置入所の対象者は増加していると思うが、養護老人ホームへの入所者の推移と入所希望者の人数、待機者の実態を問う。実態調査と適正な措置を実施することについて</p> <p>(2) 特別養護老人ホームの待機者数と実態について、増設計画について</p> <p>(3) 在宅の老々介護の世帯数。介護疲れによる虐待や自殺など深刻な実態がある。県の支援策について問う。</p> <p>4 国保制度について</p> <p>(1) 保険料の引き上げや医療費の抑制、強制徴収を強化する国保の広域化を中止すること。80年代から減らされた国の負担金を元に戻して、だれでも安心して医療が受けられる国民皆保険の制度として充実させることについて</p> <p>(2) 国保法44条に基づく医療費の減額・免除は、国から半額の交付金措置がある。必要な人が利用できるように、市町村の規定などを改善させることについて</p> <p>5 住宅行政について</p> <p>(1) 県営住宅の耐震化・老朽化の現状はどうなっているか。緊急に補修すべきではないか。策定中の改築計画で昭和56年度以前の県営住宅の改築年度を何年に予定しているか。早急に改築をすべきではないか。</p> <p>(2) 全国平均より2万戸少ない県営住宅は、入居を希望する県民のニーズに対応できていない。県営住宅の増設を急ぐこと、当面、民間アパートに住んでいる低所得者に家賃補助を行うことについて</p> <p>(3) 民間アパートの入居契約で、不動産屋から連帯保証人と保証会社が要求されているが、保証会社の保証を受けられず入居ができない問題を改善することについて、また、県の公的な保証制度を創設することについて</p>			

6 米軍施設や新基地建設への県の対応について

- (1) 那覇港(浦添埠頭地区)公有水面埋立事業における移植を行ったホソエガサやオカヤドカリなど、それぞれの保全状況について問う。現状はどうなっているか。
- (2) 浦添市の負担で、米軍牧港補給基地の中に、退役米軍人施設を新築中であるが、建設を中止させるべきではないか。
- (3) 県が費用負担をして米軍基地内に施設を建設してきているが、建設年度、場所、どのような施設が建設され、総費用額は幾らか、具体的に問う。
- (4) 県道港川道路建設のために米軍牧港補給基地の一部返還をしているが、返還に至る交渉の経過と具体的な合意内容の説明を求める。
- (5) 米軍牧港補給基地内に、米軍ゲートを設置し、米軍郵便局を移設新築するのはなぜか。米軍基地内に、県民の税金を投入しての米軍施設建設は中止すること。
- (6) 知事は、新基地建設反対の県民の総意を受けて「県外、国外」を公約した。浦添西海岸を埋め立てる新基地の軍港建設はやめさせるべきではないか。浦添軍港建設の環境アセスのための1億7300万の予算執行をやめさせるよう政府に要請することについて

7 障がい者権利条例の制定について

8 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成23年第5回沖縄県議会(定例会)

07月04日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	仲宗根 悟(社民・護憲)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢に関して</p> <p>(1) 基地問題について</p> <p>ア 垂直離着陸輸送機MV22オスプレイの普天間飛行場配備は、危険性の除去を求めている中で断固として許されるものではない。知事の見解を伺う。</p> <p>(2) 観光行政について</p> <p>ア 3・11東日本大震災、福島原発事故以降、国内観光の自粛、風評被害での外国人観光客の落ち込みで県経済への影響は大きいものがある。入域観光客の回復策の強化対策にどのように臨むのか伺う。</p> <p>イ 世界のウチナーンチュ大会に向けての取り組み、進捗状況を伺う。</p> <p>(3) 第1次産業の強化で雇用対策につなげられてくると思うが、そのための研究分野の強化が不可欠です。その施策について伺いたい。</p> <p>(4) 遺骨収集事業についての取り組み状況を伺う。</p> <p>2 トリイ通信施設内の海岸における工作物に関して</p> <p>(1) 米軍によって海岸に積み上げられた砂や石をどのようにとらえているか伺う。</p> <p>(2) 県は、外務省沖縄事務所、沖縄防衛局、在沖米陸軍基地管理本部へ要請を行っているが、その内容と、どのような対応であったか伺う。</p> <p>(3) 作業をした係の説明だと、「陸側の別の工事箇所から搬出した土砂も含まれている」としている。海岸法に抵触すると思うがどうか伺う。</p> <p>3 台風2号における被害に関して</p> <p>(1) 被害状況について伺う。</p> <p>(2) 農林水産関連での支援策を伺う。</p> <p>(3) 倒木や飛ばされてきた瓦れきの処理を市町村、地域で行っているものもあるが、処理費の支援などはできないか伺う。</p> <p>4 土木行政に関して</p> <p>(1) 道路行政について</p> <p>ア 県道6号線読谷村内の渋滞緩和策をどう図るか伺う。</p> <p>イ 県道12号線の渋滞は、県道6号線との接続交差点改良で緩和できると思うが、その取り組みを伺う。</p> <p>ウ 嘉手納弾薬庫内を通過するハシゴ道路の取り組みについて伺う。</p> <p>(2) 下水道事業について</p> <p>ア 県内の流域、公共の整備状況について伺う。</p> <p>イ 中部流域下水道伊佐浜処理区読谷側の管渠の延伸について伺う。</p> <p>5 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成23年第5回沖縄県議会(定例会)

07月04日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	嘉陽 宗儀(共産党)	知事
質問要旨			
<p>1 米軍基地問題について</p> <p>(1) 新たな「日米合意」について</p> <p>ア 県民の「普天間基地の県内移設反対」の総意を力づくで踏みにじるものであり絶対に許されない。県民ぐるみの闘いでしか打開できない。知事はその先頭に立って頑張る決意を伺う。</p> <p>イ 沖縄戦は、まさに国策によるものであった。今回の基地押しつけも同じである。沖縄は植民地ではない。日本国憲法で保障された民主主義を確立する闘いだ。知事の明確な態度を表明すべきだ。所見を伺う。</p> <p>(2) 日米地位協定について</p> <p>ア 日米地位協定の目的は何か。知事は必要だと考えるか。</p> <p>イ 日米地位協定を廃止すると、米軍に与える影響はどうか。</p> <p>ウ 県民を守るためには日米地位協定は廃止すべきではないか。</p> <p>(3) ヤンバルの自然保護について</p> <p>ア 小笠原諸島が世界遺産登録された。次はヤンバルだ。ヘリパッドが建設されたら、ヤンバルを世界自然遺産登録させることは困難になると思う。知事の所見を伺う。</p> <p>イ ヤンバルの自然は地球上でもまれな亜熱帯雨林を有する世界の宝である。それを守るのには知事の責務である。ただちにヘリパッド工事の中止を申し入れるべきだ。決意を伺う。</p> <p>ウ 国頭村で皆伐が行われている。直ちに中止させるべきである。決意を伺う。</p> <p>エ 松くい虫駆除のために農薬散布が行われ、ノグチゲラやヤンバルクイナなど希少動植物に重大な影響が出ていると訴えがあるが、実態はどうなっているか。直ちに農薬散布を中止すべきだ。対応を聞く。</p> <p>(4) 米軍普天間基地へのオスプレイ配備について</p> <p>ア 県と宜野湾市がオスプレイ配備について、29項目についての説明を防衛局に求めたが、その経緯と目的について説明を求めよ。</p> <p>イ なぜ、オスプレイの配備か、理由を説明せよ。</p> <p>ウ CH46とオスプレイの違い(機能、諸元等)について</p> <p>エ オスプレイの配備によって普天間基地の固定化と危険性が增大すると考える。配備計画の撤回を求めよ。</p> <p>2 東部海浜開発事業について</p> <p>(1) 埋立地用途変更に関する「公有水面埋め立て免許」の承認申請が提出されたが、審査の内容を説明せよ。</p> <p>(2) 知事が知事に承認申請を提出して適正な審査が行われる保証はあるのか。あれば説明せよ。結局、埋め立てありきの県民だましの手法ではないか。</p> <p>(3) 東日本大震災を受けて、事業計画は「液化現象」などの対策はやっているか。</p> <p>(4) 需要予測が大幅に落ち込んだ中で、経済的合理性のある計画と判断した根拠を明確に示せ。</p> <p>(5) 無駄な公共工事である東部海浜開発事業は中止すべきだ。決意を伺う。</p> <p>3 教育問題について</p> <p>(1) 高校再編計画について</p>			

- ア 今回の再編計画は、従来の「高校教育の多様化政策」と矛盾するものとなっていると思うが、見解を伺う。
- イ これまでの「編成整備計画」に関する総括はやっているか。教訓はあるか。
- (2) 私学助成について
私学の公教育に果たしている役割は甚大なものがあり、当然、公的な助成が図られるべきである。現在までの助成の実態と今後の方針を伺う。
- 4 沖縄市北部の産業廃棄物に係る問題について
- (1) これまでごみ山問題を取り上げてきたが、現在、トラックでごみが運び込まれてますます高くなっているが、なぜそうなっているのか。
- (2) この間、倉敷環境に対する警告、改善命令はやってきたのか。効果がない理由は何か説明せよ。
- (3) 北谷の返還跡地から排出された鉛汚染土壌やアスベスト含有廃棄物の沖縄市の登川への不法投棄について、事実を明らかにせよ。
- (4) これは廃棄物保管基準にも違反しているのではないか。
- 5 遺伝子組み換えパパイヤについて
- (1) 台湾から輸入された遺伝子組み換えパパイヤは伐採処分されたが、その根拠は何か。生産農家への補償はどうなっているか。
- (2) 政府はハワイ産遺伝子組み換えパパイヤを来年度から輸入する方針だが、問題はないか。問題があれば政府に明確に意思表示すべきではないか。
- 6 ATL(成人T細胞白血病)の治療について
- (1) ATLはどのような病気か。
- (2) 患者の実態はどうなっているか。沖縄に患者が多いのはなぜか。
- (3) 適切な治療法はあるか。
- (4) シークワサー果皮に含まれる新機能成分「ベータ・カロフィレン」に抑制効果があると沖縄科学技術振興センターが発表しているが、その内容の説明を求める。
- (5) 画期的な発見である。実用化は進んでいるか。
- (6) ウイルス感染者に対してこの成果の活用を図る必要がある。決意を伺う。
- 7 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成23年第5回沖縄県議会(定例会)

07月04日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	比嘉 京子(社大・結)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 観光行政について</p> <p>(1) 2009年の「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」では川平湾が「三つ星」に、石垣島は「二つ星」にランクされている。さらに2010年、世界最大の旅行ガイドブック(ロンリープラネット社)「知らざる島々」部門で、八重山諸島が世界「第3位」に評価されている。八重山の世界的評価をどのように生かしていくのか、施策を問う。</p> <p>(2) 毎年実施している観光客の満足度調査について</p> <p>ア 満足度調査の目的を問う。</p> <p>イ 満足度調査の結果はどのように活用されているか。</p> <p>ウ 満足度を高める施策は行われているか。</p> <p>2 教育行政について</p> <p>(1) 学校図書館司書について</p> <p>ア 学校図書館司書の専門性や役割、必要性をどのように認識しているか。</p> <p>イ 今年度の採用試験における図書館司書の位置づけはどうなっているか。</p> <p>ウ 本県は財政難を理由に20年以上にわたり司書を採用してこなかったが、学力を初めとして、児童・生徒へ与える影響について調査、分析したことがあるか。</p> <p>(2) 幼稚園教育における人的配置について</p> <p>ア 本県の幼児教育振興アクションプログラム(実施期間平成22～23年度)によると、「職員配置の改善」を明記している。その進捗状況について伺う。</p> <p>イ 特に「臨時的任用教員の学級担任の抑制に努める」としているが改善されているか伺う。</p> <p>3 病院行政について</p> <p>(1) 2010年度決算の黒字の要因と評価を伺う。</p> <p>(2) 経営健全化へのさらなる課題は何か。</p> <p>(3) 病床の休床状況について伺う。</p> <p>ア 休床の過去3年間の推移を示されたい。</p> <p>イ 休床に対する認識と対応策はどうなっているのか。</p> <p>ウ 休床が解消されると1年間の診療報酬は幾ら増額するか。</p> <p>(4) 中部病院の7対1体制の実施状況と課題について問う。</p> <p>(5) コメディカルの人員不足は深刻な状況にあると認識しているがどうか伺う。</p> <p>ア コメディカルの必要人員は何名か。</p> <p>イ 人員を確保するためにどのような方策を考えているか。</p> <p>ウ 必要な人員を確保することでどのような成果が期待されるか。</p> <p>(6) DPC機能評価に見る県立病院の評価についての認識を問う。</p> <p>4 福祉保健行政について</p> <p>(1) 看護師養成について</p> <p>ア 医療以外も含めた看護師の需給見通しについて問う。</p> <p>イ 浦添看護学校民間移譲採決時における動議の進捗状況はいかに。</p> <p>ウ 県修学資金の給付状況と他の機関の奨学金の給付状況の動向について問う。</p>			

5 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成23年第5回沖縄県議会(定例会)

07月04日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	17分	瑞慶覧 功(社大・結)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) ケビン・メアによる沖縄に対する差別発言への対応と見解を伺う。</p> <p>(2) 日本政府に対し、発言内容の照会を求め、その背景を検証させるべきである。見解を伺う。</p> <p>(3) 日米安保条約を容認する立場での日米地位協定の見直しを求めることの合理性について見解を伺う。</p> <p>(4) 普天間飛行場の嘉手納基地統合案についての見解と、下地衆院議員の一連の言動が県内外に与える影響について見解を伺う。</p> <p>(5) 差別的な日米地位協定の抜本的な見直しを求める見解と決意を伺う。</p> <p>(6) 嘉手納基地周辺5市町村の住民2万2058人が原告となった第3次嘉手納爆音訴訟について見解を伺う。</p> <p>(7) 福島第一原発事故を踏まえ、原子力発電に対する見解を伺う。</p> <p>2 基地問題について</p> <p>(1) 米軍属による交通死亡事故不起訴への抗議と地位協定の抜本の見直しなどを求める決議を採択した市町村の状況を伺う。</p> <p>(2) 県は、米軍構成員等に起因する事件・事故に巻き込まれた県民のために対応する部署を設置すべきである。見解を伺う。</p> <p>(3) 嘉手納基地におけるパラシュート降下訓練への抗議に対する米軍の対応と県の今後の対応を伺う。</p> <p>(4) 嘉手納基地が返還され跡地利用が図られた場合の雇用経済効果について伺う。</p> <p>(5) 嘉手納基地の返還を日米両政府に求めるべきである。見解を伺う。</p> <p>3 東日本大震災に関連して</p> <p>(1) 県内から寄せられた義援金額と使途方法について伺う。</p> <p>(2) 全国から寄せられた義援金額と使途方法について伺う。</p> <p>(3) 外国から寄せられた義援金の総額と上位10カ国、国別の額を伺う。</p> <p>(4) 被災地や被災者への義援金配付がおくれた原因と進捗状況を伺う。</p> <p>4 第5回世界のウチナーンチュ大会について</p> <p>(1) 世界のウチナーンチュ大会に向けての進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 現時点での参加申し込み状況(国・地域ごとの人数)と最終予想人数を伺う。</p> <p>(3) 現時点で期間中に各市町村独自で歓迎交流事業等を計画している自治体状況を伺う。</p> <p>(4) 今日の米軍基地問題を初めとする沖縄の抱える課題を世界のウチナーンチュで共有するために、グローバル学生会議等の中でテーマとして取り上げるべきだと思うが、見解を伺う。</p> <p>5 平成23年度沖縄県職員採用計画について</p> <p>(1) 現在の林業と水産業部門における専門職の職場欠員状況について伺う。</p> <p>(2) 今年度の上級試験の区分で、林業と水産の試験を実施しないことが県人事委員会から発表された。理由と説明を求める。</p> <p>(3) 採用試験の中止は、研究員等専門職の継続的な育成を停滞させ、結果的に林業・水産技術の衰退につながるものである。見解を伺う。</p>			

- (4) 採用試験の中止は、結果として琉球大学農学部の森林科学・林学系の学科や理学部海洋自然科学科の存続に影を落とすことになる。見解を伺う。
 - (5) 林業・水産部門は、沖縄県にとって今後より強化されるべきである。追加募集を真剣に考えていただきたい。見解を伺う。
- 6 琉台技術研究交流会について
- (1) 琉台技術研究交流会の目的と変遷、成果について伺う。
 - (2) こととして琉台技術研究交流会を廃止することになった理由を伺う。
 - (3) 県が台湾側へ提示した今後の技術交流のあり方とそれに対する台湾側の反応、対応を伺う。
 - (4) ことし1月、沖縄で開催された琉台技術研究交流会の事業費を伺う。
- 7 米軍構成員(軍人・軍属及びその家族)に起因する交通事故について
- (1) 米軍構成員に起因する交通事故発生状況、総数と過去10年間の平均値を伺う。
 - (2) 米軍構成員に起因する飲酒絡みの交通事故発生実態、過去10年間の平均値を伺う。
 - (3) 県民の運転に起因する事故件数と、飲酒絡みの事故件数の割合と、米軍構成員に起因する事故との比較分析を伺う。
- 8 我が会派の代表質問との関連について